

シェルパ齋藤の山小屋 24 時間滞在記 (齋藤政喜 文・写真、神田めぐみ イラスト)

著者紹介 齋藤政喜 1961 年生まれ。紀行作家で地球を歩いて旅するバックパッカー。1990 年に東海道自然歩道を踏破する紀行文を雑誌に掲載。読者を歩く旅にいざなうことから、山岳ガイドの代名詞であるシェルパを冠した「シェルパ齋藤」のペンネームになる。1995 年に八ヶ岳山麓に移住し、自らの手で家をつくり、火を中心とした自己完結型の田舎暮らしを楽しむ。

神田めぐみ 1985 年生まれ。多摩美術大学卒業。在学中に編集補助のアルバイトを始め、その後フリーランスイラストレーターに。山岳雑誌やアウトドア雑誌を中心に活動中。一年を通して登山を楽しむ。2023 年に神奈川県大磯町に移住し、近所に海と裏山がある生活を満喫している。



著者は八ヶ岳編 25 軒 奥秩父編 11 軒 全国編 46 軒 日本アルプス編 63 軒、計 145 軒の山小屋に宿泊して記録し、イラストを描く。1 山小屋を 2 ページで編集。

2 ページの内容は 1 ページがその山小屋の歴史や特色、主人の人柄など、取材をもとに記録している。また 2 ページ目にその間取りや特徴など、イラストに描いて丁寧にかつ温かく描く。読み応え、見応え十分である。145 軒の中には、私自身が利用した山小屋もあり、懐かしく読ませてもらう。しかし、時の流れで主人も代替わりしていたり、改築されていて面影もなくなっていたりする小屋もあった。

齋藤氏は「映画でたとえるなら予告編なのである。予告編を見て興味がわいたら本編を観に映画館に出かけるように、それぞれの山小屋の概略を知って行きたくなったら、最新情報を得て山小屋に出かけてほしい」という。そして「僕の経験とは異なる、あなただけの「山小屋 24 時間滞在記」になるはずだ」と。

また神田氏は「描くのは大変でしたが、取材は毎回本当に楽しかったです。山小屋の建物や、そこでの仕事ぶり暮らしぶりを見せてもらいながら、少しの間ですが山小屋のみなさんと時間を共有させていただきました」と語り、「たくさんの山小屋を訪ねて回った思い出は、私にとって宝物です」と締めくくっていた。私たちがたいへんお世話になる山小屋の新たな情報満載の滞在記は、必見である。

(いの)

シェルパ齋藤の山小屋 24 時間滞在記 2024 年 8 月 1 日発行 山と溪谷社 2750 円